＜様式 1＞

平成 25 年 6 月 21 日

国土交通大臣　　殿

地域型住宅ブランド化事業　適用申請書

本申請書の内容により、地域型住宅ブランド化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実に相違ありません。

地域型住宅の名称：　太陽の恵み「りんごの里の家」

グループの名称：　住まいる応援隊

平成24年度
採択グループ番号：

（平成25年度新規グループは、採択グループ番号は必要ありません）

（グループ代表者）

代表者名：	鈴木　文雄　　代表者印
代表者所属先：	株式会社　丸富
代表者構成員番号：	Ⅲ－3　Ⅵ－14
代表者住所：	長野県飯田市上郷別府881番地
電話番号：	0265240111

（グループ事務局）

事務局事業者名：	株式会社　丸富
事務局構成員番号：	Ⅲ－3　Ⅵ－14
事務局担当者名：	鈴木　文雄　　印
事務局郵便番号：	395-0003
事務局住所：	長野県飯田市上郷別府881番地
事務局電話番号：	0265240111
事務局FAX：	0265239154
事務局担当者E-mail：	suzuki@iidatfc.com

※　平成24年度採択グループは、平成24年度に提出された適用申請書から変更点がある場合、その変更点が分かるように（文字の色を変更する、下線を引く等）記載して下さい。

＜地域型住宅の生産体制＞　　＜様式2－1＞

■他の様式にリンクしますので、全て正確に記載してください。

1. 地域型住宅の名称（必須）	太陽の恵み「りんごの里の家」
2. グループの名称（必須）	住まいる応援隊
3. 地域型住宅供給対象地域（必須）	長野県飯田下伊那地域
4. 結成年月（必須）	平成20年8月
5. グループ代表者名（必須）	鈴木　文雄
6. グループ代表者の所属先（必須）	株式会社　丸富
7. グループ代表者の構成員番号（必須）	Ⅲ－3　Ⅵ－14
8. グループ代表者所在地（必須）	長野県飯田市上郷別府881番地
9. グループ代表者電話番号（必須）	0265240111
10. グループ事務局事業者名（必須）	株式会社　丸富
11. グループ事務局の構成員番号（必須）	Ⅲ－3　Ⅵ－14
12. グループ事務局担当者名（必須）	鈴木　文雄
13. グループ事務局郵便番号（必須）	395-0003
14. グループ事務局所在地（必須）	長野県飯田市上郷別府881番地
15. グループ事務局電話番号（必須）	0265240111
16. グループ事務局FAX番号（必須）	0265239154
17. グループ事務局担当者E-mail（必須）	suzuki@iidatfc.com

（構成員数）　※様式2－2の各シートからリンクする為、入力は必要ありません。

Ⅰ. 原木供給	5
Ⅱ. 製材・集成材製造・合板製造	6
Ⅲ. 建材流通（木材を扱わない事業者を除く）	3
Ⅳ. プレカット	5
Ⅴ. 設計	12
Ⅵ. 施工	15
Ⅶ. 木材を扱わない流通	1
Ⅷ. Ⅰ～Ⅶ以外の業種	3

A. 使用する地域材に関する事項　（必須）

対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称
遠山杉	長野県	信州木材認証制度
根羽杉	長野県	信州木材認証制度
信州唐松	長野県	信州木材認証制度
合法建材	国内・国外	合法木材証明制度

B. 平成25年度における地域型住宅の供給予定戸数等　（必須）

地域型住宅の供給予定戸数	うち長期優良住宅	（左記の根拠、**様式2－2**に記載した実績との関係等）
30 戸	15 戸	地域型住宅の受注目標を1工務店最低2棟とし、本助成金の活用により、参加工務店全社が長期優良住宅の受注に積極的に取り組むこととし、長期優良住宅の供給予定戸数を左記の通りとした。
地域型住宅による地域材使用予定量	うち長期優良住宅分	（左記の根拠、**様式2－2**に記載した実績との関係等）
600 ㎥	300 ㎥	地域型住宅には過半以上の地域材を使用する事としていることから、左記地域材使用予定量を設定。

C. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール（必須）

本事業への参加を希望する工務店全社に最低1戸を配分し、その上でこれまで長期優良住宅への取組みが少ない工務店や受注が確実視されている工務店へ優先的に配分していく。

D. 平成24年度の執行状況
（H24年度採択グループのみ必須）

採択戸数　注4	交付申請件数	完了実績見込み	
		竣工済	竣工予定
戸	戸	戸	戸

注1）代表者の所属先及び事務局事業者名は略さず正式名で記載してください。 例：株式会社〇（株）×
注2）郵便番号は、ハイフンありで半角入力　例：123-4567
注3）電話番号・FAXは、ハイフンなしで半角入力　例：0123456789
注4）採択戸数は最終的な配分戸数を記入して下さい。

＜様式 2-2・Ⅰ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞　　Ⅰ．原木供給

注1					注2			注3	
県番号	構成員番号			事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	平成24年（1月～12月）実績
Ⅰ．原木供給							構成員数: 5		地域材（丸太）供給量（㎥）
20	Ⅰ	－	1	長野県森林組合連合会	藤原　忠彦	380-8567	長野市大字中御所字岡田30-16	0262262504	196,376 ㎥
20	Ⅰ	－	2	飯伊森林組合	林　和弘	395-0033	飯田市常盤町30	0265220604	24,970 ㎥
20	Ⅰ	－	3	上郷木材株式会社	澤柳　浩成	395-0004	飯田市上郷黒田1172	0265246180	500 ㎥
20	Ⅰ	－	4	生田木材技建株式会社	林　宗広	399-3302	下伊那郡松川町生田849-5	0265362310	60 ㎥
20	Ⅰ	－	5	有限会社村澤製材	村澤　和彦	395-0807	飯田市鼎切石4256	0265242739	15 ㎥
	Ⅰ	－	6						㎥
	Ⅰ	－	7						㎥
	Ⅰ	－	8						㎥
	Ⅰ	－	9						㎥
	Ⅰ	－	10						㎥
	Ⅰ	－							㎥
	Ⅰ	－							㎥
	Ⅰ	－							㎥
	Ⅰ	－							㎥
	Ⅰ	－							㎥
	Ⅰ	－							㎥
	Ⅰ	－							㎥
	Ⅰ	－							㎥
	Ⅰ	－							㎥
	Ⅰ	－							㎥
	Ⅰ	－							㎥
	Ⅰ	－							㎥
	Ⅰ	－							㎥
	Ⅰ	－							㎥

注1）県番号は、県番号のワークシートを参照してください。

注2）郵便番号は、半角文字で、ハイフン付きで入力してください。（例：000-0000）

注3）電話番号は、半角文字でハイフンやかっこを入れずに入力してください。（例：00000000000）

※）業種（Ⅰ、Ⅱ・・・）毎に、それぞれ原則として1事業者以上の構成員（ただし、Ⅵ．施工については、年間住宅供給戸数が50戸程度未満の中小住宅生産者が5から10事業者程度以上）による体制としてください。10事業者以上となる場合、構成員番号を連番で追加してください。

※）業種（Ⅰ、Ⅱ・・・）毎に、平成24年（1月～12月）実績の大きい事業者から順に記載してください。

※）Ⅰ～Ⅶ以外の業種の構成員がある場合は、Ⅷに記載してください。

※）国有林から原木を調達する場合など、原木供給事業者名を特定できない（グループ構成員として記載できない）が、地域材の調達手続きが明確な場合は、その旨を任意様式において説明してください。

※）行が不足する場合は、該当業種のワークシートをコピーし追加して下さい。

※）＜様式4＞適用申請書記載事項確認念書の内容を正確に転記して下さい。事業者名については、（株）や（有）等の略号は用いず、正式な法人名を記入して下さい。

＜様式 2-2・Ⅱ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞　Ⅱ．製材・集成材製造・合板製造

注1　注2　注3

県番号	構成員番号			事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	平成24年（1月～12月）実績	
Ⅱ．製材・集成材製造・合板製造							構成員数：	6	生産量	うち該当地域材
13	Ⅱ	－	1	株式会社キーテック	松田　一郎	136-0082	江東区新木場1-7-22	0355343741	52,300 ㎥	6,000 ㎥
20	Ⅱ	－	2	株式会社飯伊	林　和弘	395-1101	下伊那郡喬木村400-161	0265498418	5,000 ㎥	5,000 ㎥
20	Ⅱ	－	3	上郷木材株式会社	澤柳　浩成	395-0004	飯田市上郷黒田1172	0265246180	3,200 ㎥	1,280 ㎥
20	Ⅱ	－	4	瑞穂木材株式会社	宮崎　正毅	389-2301	下高井郡木島平村大字穂高3228-1	0269823118	2,437 ㎥	2,315 ㎥
20	Ⅱ	－	5	有限会社村澤製材	村澤　和彦	395-0807	飯田市鼎切石4256	0265242739	80 ㎥	50 ㎥
20	Ⅱ	－	6	生田木材技建株式会社	林　宗広	399-3302	下伊那郡松川町生田849-5	0265362310	30 ㎥	25 ㎥
	Ⅱ	－	7						㎥	㎥
	Ⅱ	－	8						㎥	㎥
	Ⅱ	－	9						㎥	㎥
	Ⅱ	－	10						㎥	㎥
	Ⅱ	－							㎥	㎥
	Ⅱ	－							㎥	㎥
	Ⅱ	－							㎥	㎥
	Ⅱ	－							㎥	㎥
	Ⅱ	－							㎥	㎥
	Ⅱ	－							㎥	㎥
	Ⅱ	－							㎥	㎥
	Ⅱ	－							㎥	㎥
	Ⅱ	－							㎥	㎥
	Ⅱ	－							㎥	㎥
	Ⅱ	－							㎥	㎥
	Ⅱ	－							㎥	㎥
	Ⅱ	－							㎥	㎥
	Ⅱ	－							㎥	㎥
	Ⅱ	－							㎥	㎥

注1）県番号は、県番号のワークシートを参照してください。

注2）郵便番号は、半角文字で、ハイフン付きで入力してください。（例：000-0000）

注3）電話番号は、半角文字でハイフンやかっこを入れずに入力してください。（例：00000000000）

※）業種（Ⅰ、Ⅱ・・・）毎に、それぞれ原則として1事業者以上の構成員（ただし、Ⅵ．施工については、年間住宅供給戸数が50戸程度未満の中小住宅生産者が5から10事業者程度以上）による体制としてください。10事業者以上となる場合、構成員番号を連番で追加してください。

※）業種（Ⅰ、Ⅱ・・・）毎に、平成24年（1月～12月）実績の大きい事業者から順に記載してください。

※）Ⅰ～Ⅷ以外の業種の構成員がある場合は、Ⅷ以降に記載してください。

※）行が不足する場合は、該当業種のワークシートをコピーし追加して下さい。

※）＜様式4＞適用申請書記載事項確認念書の内容を正確に転記して下さい。事業者名については、（株）や（有）等の略号は用いず、正式な法人名を記入して下さい。

＜様式 2-2・Ⅲ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞　Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く）

注1　注2　注3

県番号	構成員番号			事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	平成24年（1月～12月）実績	
Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く）							構成員数：	3	木材供給量	うち該当地域材
13	Ⅲ	－	1	ジャパン建材株式会社	小川　明範	136-8405	江東区新木場1-7-22	0355343711	140,000 ㎥	5,500 ㎥
20	Ⅲ	－	2	株式会社峯村材木店	峯村　宗次	387-0006	千曲市大字粟佐760-1	0262721182	3,210 ㎥	158 ㎥
20	Ⅲ	－	3	株式会社丸富	鈴木　文雄	395-0003	飯田市上郷別府881	0265240111	300 ㎥	15 ㎥
	Ⅲ	－	4						㎥	㎥
	Ⅲ	－	5						㎥	㎥
	Ⅲ	－	6						㎥	㎥
	Ⅲ	－	7						㎥	㎥
	Ⅲ	－	8						㎥	㎥
	Ⅲ	－	9						㎥	㎥
	Ⅲ	－	10						㎥	㎥
	Ⅲ	－							㎥	㎥
	Ⅲ	－							㎥	㎥
	Ⅲ	－							㎥	㎥
	Ⅲ	－							㎥	㎥
	Ⅲ	－							㎥	㎥
	Ⅲ	－							㎥	㎥
	Ⅲ	－							㎥	㎥
	Ⅲ	－							㎥	㎥
	Ⅲ	－							㎥	㎥
	Ⅲ	－							㎥	㎥
	Ⅲ	－							㎥	㎥
	Ⅲ	－							㎥	㎥
	Ⅲ	－							㎥	㎥
	Ⅲ	－							㎥	㎥
	Ⅲ	－							㎥	㎥

注1）県番号は、県番号のワークシートを参照してください。

注2）郵便番号は、半角文字で、ハイフン付きで入力してください。（例：000-0000）

注3）電話番号は、半角文字でハイフンやかっこを入れずに入力してください。（例：00000000000）

※）業種（Ⅰ、Ⅱ・・・）毎に、それぞれ原則として1事業者以上の構成員（ただし、Ⅵ．施工については、年間住宅供給戸数が50戸程度未満の中小住宅生産者が5から10事業者程度以上）による体制としてください。10事業者以上となる場合、構成員番号を連番で追加してください。

※）業種（Ⅰ、Ⅱ・・・）毎に、平成24年（1月～12月）実績の大きい事業者から順に記載してください。

※）Ⅰ～Ⅷ以外の業種の構成員がある場合は、Ⅷ以降に記載してください。

※）行が不足する場合は、該当業種のワークシートをコピーし追加して下さい。

※）＜様式4＞適用申請書記載事項確認念書の内容を正確に転記して下さい。事業者名については、（株）や（有）等の略号は用いず、正式な法人名を記入して下さい。

＜様式 2-2･Ⅳ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞　Ⅳ．プレカット

注1　　注2　　注3

県番号	構成員番号			事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	平成24年（1月～12月）実績	
Ⅳ．プレカット							構成員数：	5	プレカット戸数	うち長期優良住宅
20	Ⅳ	－	1	北信地域材加工事業協同組合	峯村　宗次	381-0003	長野市大字穂保字中ノ配341-1	0262513200	584 戸	30 戸
20	Ⅳ	－	2	生田木材技建株式会社	林　宗広	399-3302	下伊那郡松川町生田849-5	0265362310	6 戸	1 戸
20	Ⅳ	－	3	有限会社中島建築所	中島　誠	395-0815	飯田市松尾常盤台72-1	0265244528	3 戸	0 戸
20	Ⅳ	－	4	有限会社吉津建築	吉津　康則	395-0802	飯田市鼎下茶屋1042-6	0265225717	2 戸	0 戸
20	Ⅳ	－	5	有限会社村澤製材	村澤　和彦	395-0807	飯田市鼎切石4256	0265242739	1 戸	0 戸
	Ⅳ	－	6						戸	戸
	Ⅳ	－	7						戸	戸
	Ⅳ	－	8						戸	戸
	Ⅳ	－	9						戸	戸
	Ⅳ	－	10						戸	戸
	Ⅳ	－							戸	戸
	Ⅳ	－							戸	戸
	Ⅳ	－							戸	戸
	Ⅳ	－							戸	戸
	Ⅳ	－							戸	戸
	Ⅳ	－							戸	戸
	Ⅳ	－							戸	戸
	Ⅳ	－							戸	戸
	Ⅳ	－							戸	戸
	Ⅳ	－							戸	戸
	Ⅳ	－							戸	戸
	Ⅳ	－							戸	戸
	Ⅳ	－							戸	戸
	Ⅳ	－							戸	戸

注1）県番号は、県番号のワークシートを参照してください。

注2）郵便番号は、半角文字で、ハイフン付きで入力してください。（例：000-0000）

注3）電話番号は、半角文字でハイフンやかっこを入れずに入力してください。（例：00000000000）

※）業種（Ⅰ、Ⅱ･･･）毎に、それぞれ原則として1事業者以上の構成員（ただし、Ⅵ．施工については、年間住宅供給戸数が50戸程度未満の中小住宅生産者が5から10事業者程度以上）による体制としてください。10事業者以上となる場合、構成員番号を連番で追加してください。

※）業種（Ⅰ、Ⅱ･･･）毎に、平成24年（1月～12月）実績の大きい事業者から順に記載してください。

※）Ⅰ～Ⅶ以外の業種の構成員がある場合は、Ⅷ以降に記載してください。

※）行が不足する場合は、該当業種のワークシートをコピーし追加して下さい。

※）＜様式4＞適用申請書記載事項確認念書の内容を正確に転記して下さい。事業者名については、（株）や（有）等の略号は用いず、正式な法人名を記入して下さい。

＜様式 2-2･Ⅴ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞　Ⅴ．設計

注1　注2　注3

県番号	構成員番号			事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	平成24年（1月～12月）実績	
Ⅴ．設計							構成員数：	12	木造住宅設計戸数	うち長期優良住宅
20	Ⅴ	－	1	小竹建設有限会社	清水　世紀	395-0004	飯田市上郷黒田674-1	0265225243	30 戸	0 戸
20	Ⅴ	－	2	有限会社田口設計事務所	田口　満雄	395-0004	飯田市上郷黒田1242-10	0265236255	10 戸	0 戸
20	Ⅴ	－	3	建築工房MYMM	奥山　昌文	399-3801	上伊那郡中川村大草4750-2	0265881105	8 戸	0 戸
20	Ⅴ	－	4	生田木材技建株式会社	林　宗広	399-3302	下伊那郡松川町生田849-5	0265362310	6 戸	1 戸
20	Ⅴ	－	5	株式会社エフエムディー設計	宮澤　民人	395-0004	飯田市上郷黒田1849-1	0265530511	6 戸	0 戸
20	Ⅴ	－	6	有限会社中塚工務店	中塚　功二	399-3102	下伊那郡高森町吉田2517	0265353178	6 戸	0 戸
20	Ⅴ	－	7	藤本建築設計事務所	藤本　勝	395-0024	飯田市東栄町3351-1	0265241275	5 戸	0 戸
20	Ⅴ	－	8	FUN　Design川上建築設計室	川上　浩司	395-0003	飯田市上郷別府2149-1	0265522135	5 戸	0 戸
20	Ⅴ	－	9	環境プランニング	木下　光	395-0002	飯田市上郷飯沼1433-1	0265235450	4 戸	0 戸
20	Ⅴ	－	10	姫Design工房建築士事務所	中島　誠	395-0815	飯田市松尾常盤台72-1	0265244528	3 戸	0 戸
20	Ⅴ	－	11	有限会社鈴木工務店一級建築士事務所	鈴木　政好	395-0811	飯田市松尾上溝2957	0265223788	3 戸	0 戸
20	Ⅴ	－	12	有限会社吉津建築	吉津　康則	395-0802	飯田市鼎下茶屋1042-6	0265225717	2 戸	0 戸
	Ⅴ	－							戸	戸
	Ⅴ	－							戸	戸
	Ⅴ	－							戸	戸
	Ⅴ	－							戸	戸
	Ⅴ	－							戸	戸
	Ⅴ	－							戸	戸
	Ⅴ	－							戸	戸
	Ⅴ	－							戸	戸
	Ⅴ	－							戸	戸
	Ⅴ	－							戸	戸
	Ⅴ	－							戸	戸
	Ⅴ	－							戸	戸
	Ⅴ	－							戸	戸

注1）県番号は、県番号のワークシートを参照してください。

注2）郵便番号は、半角文字で、ハイフン付きで入力してください。（例：000-0000）

注3）電話番号は、半角文字でハイフンやかっこを入れずに入力してください。（例：00000000000）

※）業種（Ⅰ、Ⅱ･･･）毎に、それぞれ原則として1事業者以上の構成員（ただし、Ⅵ．施工については、年間住宅供給戸数が50戸程度未満の中小住宅生産者が5から10事業者程度以上）による体制としてください。10事業者以上となる場合、構成員番号を連番で追加してください。

※）業種（Ⅰ、Ⅱ･･･）毎に、平成24年（1月～12月）実績の大きい事業者から順に記載してください。

※）Ⅰ～Ⅶ以外の業種の構成員がある場合は、Ⅷ以降に記載してください。

※）行が不足する場合は、該当業種のワークシートをコピーし追加して下さい。

※）＜様式4＞適用申請書記載事項確認念書の内容を正確に転記して下さい。事業者名については、（株）や（有）等の略号は用いず、正式な法人名を記入して下さい。

＜グループ構成員記入用リスト＞ Ⅵ. 施工

＜様式 2-2・Ⅵ＞

注1						注2		注3							注4	注5
県番号	構成員番号			事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	平成24年（1月～12月）実績						補助金の活用実績	被災地に該当
Ⅵ. 施工 （元請の年間新築住宅供給戸数が50戸程度未満の中小住宅生産者が5～10事業者程度以上）							構成員数: 15		元請の新築住宅供給戸数		うち木造の長期優良住宅					
									H24年実績	直近3年平均	H24年実績	直近3年平均			○	○
20	Ⅵ	－	1	有限会社ハンズ	奥山　昌文	399-3202	下伊那郡豊丘村神稲9304	0265358123	8 戸	8 戸	0 戸	1 戸				
20	Ⅵ	－	2	生田木材技建株式会社	林　宗広	399-3302	下伊那郡松川町生田849-5	0265362310	6 戸	6 戸	1 戸	1 戸			○	
20	Ⅵ	－	3	太田建設株式会社	太田　佳広	395-0051	飯田市高羽町2-5-5	0265228888	6 戸	6 戸	0 戸	0 戸				
20	Ⅵ	－	4	有限会社木下工務店	木下　勝司	395-0817	飯田市鼎東鼎326-2	0265220469	6 戸	5 戸	0 戸	0 戸				
20	Ⅵ	－	5	゛び沼工務店	海老沼　由裕	395-0002	飯田市上郷飯沼2274-1	0265233336	4 戸	3 戸	0 戸	0 戸				
20	Ⅵ	－	6	小竹建設有限会社	清水　世紀	395-0004	飯田市上郷黒田674-1	0265225243	4 戸	3 戸	0 戸	0 戸				
20	Ⅵ	－	7	有限会社ホームプラザ信州	伊藤　辰男	395-0812	飯田市松尾代田824	0265534023	4 戸	3 戸	0 戸	0 戸				
20	Ⅵ	－	8	有限会社鈴木工務店	鈴木　政好	395-0811	飯田市松尾上溝2957	0265223788	3 戸	3 戸	0 戸	1 戸				
20	Ⅵ	－	9	有限会社中島建築所	中島　誠	395-0815	飯田市松尾常盤台72-1	0265244528	3 戸	3 戸	0 戸	0 戸				
20	Ⅵ	－	10	有限会社中塚工務店	中塚　功二	399-3102	下伊那郡高森町吉田2517	0265353178	3 戸	2 戸	0 戸	0 戸				
20	Ⅵ	－	11	高橋建設有限会社	高橋　誠	395-0002	飯田市上郷飯沼3694-2	0265343381	2 戸	2 戸	0 戸	0 戸				
20	Ⅵ	－	12	有限会社村澤製材	村澤　和彦	395-0807	飯田市鼎切石4256	0265242739	2 戸	2 戸	0 戸	0 戸				
20	Ⅵ	－	13	有限会社吉津建築	吉津　康則	395-0802	飯田市鼎下茶屋1042-6	0265225717	2 戸	2 戸	0 戸	0 戸				
20	Ⅵ	－	14	株式会社丸富	鈴木　文雄	395-0003	飯田市上郷別府881	0265240111	2 戸	1 戸	0 戸	0 戸				
20	Ⅵ	－	15	有限会社田口工務店	田口　晃	395-0075	飯田市白山通り1-247-2	0265222181	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸				
	Ⅵ	－							戸	戸	戸	戸				
	Ⅵ	－							戸	戸	戸	戸				
	Ⅵ	－							戸	戸	戸	戸				
	Ⅵ	－							戸	戸	戸	戸				
	Ⅵ	－							戸	戸	戸	戸				
	Ⅵ	－							戸	戸	戸	戸				
	Ⅵ	－							戸	戸	戸	戸				
	Ⅵ	－							戸	戸	戸	戸				
	Ⅵ	－							戸	戸	戸	戸				
	Ⅵ	－							戸	戸	戸	戸				

注1）県番号は、県番号のワークシートを参照してください。

注2）郵便番号は、半角文字で、ハイフン付きで入力してください。（例：000-0000）

注3）電話番号は、半角文字でハイフンやかっこを入れずに入力してください。（例：00000000000）

注4）過去に地域型住宅ブランド化事業や木のいえ整備促進事業等、長期優良住宅の整備に対する補助を受けたことがある場合は○を付けて下さい。

注5）※「被災地」については、「施工」の事業者の主たる事業所（本店）が、「東日本大震災に対処するための特別の財政援助及び助成に関する法律」に基づく「特定被災区域」に存する場合、○を付けて下さい。
参照：内閣府HP（http://www.bousai.go.jp/2011jyosei-tokutei.html）

※）業種（Ⅰ、Ⅱ・・・）毎に、それぞれ原則として1事業者以上の構成員（ただし、Ⅵ. 施工については、年間住宅供給戸数が50戸程度未満の中小住宅生産者が5から10事業者程度以上）による体制としてください。10事業者以上となる場合、構成員番号を連番で追加してください。

※）Ⅵ. 施工については、所在地は本社の情報、戸数については支社や営業所等を含む会社全体の戸数を記入してください。また、「直近3年平均」とは平成22年から24年の3カ年における1年当たりの平均を記載して下さい。

※）業種（Ⅰ、Ⅱ・・・）毎に、平成24年（1月～12月）実績の大きい事業者から順に記載してください。

※）Ⅰ～Ⅶ以外の業種の構成員がある場合は、Ⅷ以降に記載してください。

※）行が不足する場合は、該当業種のワークシートをコピーし追加して下さい。

※）＜様式4＞適用申請書記載事項確認念書の内容を正確に転記して下さい。事業者名については、（株）や（有）等の略号は用いず、正式な法人名を記入して下さい。

＜様式 2-2-Ⅶ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞　Ⅶ. 木材を扱わない流通

注1				注2		注3		
県番号	構成員番号			事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	備考
Ⅶ. 木材を扱わない流通							構成員数:	1	
20	Ⅶ	－	1	飯田トーヨー住器株式会社	鈴木　文雄	395-0003	飯田市上郷別府888	0265536188	サッシ・エクステリア等アルミ建材の供給
	Ⅶ	－	2						
	Ⅶ	－	3						
	Ⅶ	－	4						
	Ⅶ	－	5						
	Ⅶ	－	6						
	Ⅶ	－	7						
	Ⅶ	－	8						
	Ⅶ	－	9						
	Ⅶ	－	10						
	Ⅶ	－							
	Ⅶ	－							
	Ⅶ	－							
	Ⅶ	－							
	Ⅶ	－							
	Ⅶ	－							
	Ⅶ	－							
	Ⅶ	－							
	Ⅶ	－							
	Ⅶ	－							
	Ⅶ	－							
	Ⅶ	－							
	Ⅶ	－							
	Ⅶ	－							
	Ⅶ	－							

注1）県番号は、県番号のワークシートを参照してください。

注2）郵便番号は、半角文字で、ハイフン付きで入力してください。（例：000-0000）

注3）電話番号は、半角文字でハイフンやかっこを入れずに入力してください。（例：00000000000）

※）業種（Ⅰ、Ⅱ・・・）毎に、それぞれ原則として1事業者以上の構成員（ただし、Ⅵ. 施工については、年間住宅供給戸数が50戸程度未満の中小住宅生産者が5から10事業者程度以上）による体制としてください。10事業者以上となる場合、構成員番号を連番で追加してください。

※）業種（Ⅰ、Ⅱ・・・）毎に、平成24年（1月～12月）実績の大きい事業者から順に記載してください。

※）Ⅰ～Ⅶ以外の業種の構成員がある場合は、Ⅷ以降に記載してください。

※）行が不足する場合は、該当業種のワークシートをコピーし追加して下さい。

※）＜様式4＞適用申請書記載事項確認念書の内容を正確に転記して下さい。事業者名については、（株）や（有）等の略号は用いず、正式な法人名を記入して下さい。

＜グループ構成員記入用リスト＞　Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種（畳、瓦、襖等の住宅資材の供給事業者等）　＜様式 2-2・Ⅷ＞

注1　注2　注3

県番号	構成員番号			事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	備考
Ⅷ.							構成員数: 3		
20	Ⅷ	－	1	加藤高圧瓦工業所	加藤　篤	395-0003	飯田市上郷別府1664-1	0265225093	瓦の供給
20	Ⅷ	－	2	原建具工芸	原　久男	395-0003	飯田市上郷別府736-1	0265227760	襖・木製建具の供給
20	Ⅷ	－	3	有限会社野々村製畳	野々村　卓	395-0811	飯田市松尾上溝3103-11	0265244483	畳の供給
	Ⅷ	－	4						
	Ⅷ	－	5						
	Ⅷ	－	6						
	Ⅷ	－	7						
	Ⅷ	－	8						
	Ⅷ	－	9						
	Ⅷ	－	10						
	Ⅷ	－							
	Ⅷ	－							
	Ⅷ	－							
	Ⅷ	－							
	Ⅷ	－							
	Ⅷ	－							
	Ⅷ	－							
	Ⅷ	－							
	Ⅷ	－							
	Ⅷ	－							
	Ⅷ	－							
	Ⅷ	－							
	Ⅷ	－							
	Ⅷ	－							

注1）県番号は、県番号のワークシートを参照してください。

注2）郵便番号は、半角文字で、ハイフン付きで入力してください。（例：000-0000）

注3）電話番号は、半角文字でハイフンやかっこを入れずに入力してください。（例：00000000000）

※）業種（Ⅰ、Ⅱ・・・）毎に、それぞれ原則として1事業者以上の構成員（ただし、Ⅵ．施工については、年間住宅供給戸数が50戸程度未満の中小住宅生産者が5から10事業者程度以上）による体制としてください。10事業者以上となる場合、構成員番号を連番で追加してください。

※）業種（Ⅰ、Ⅱ・・・）毎に、平成24年（1月～12月）実績の大きい事業者から順に記載してください。

※）Ⅰ～Ⅶ以外の業種の構成員がある場合は、Ⅷ以降に記載してください。

※）行が不足する場合は、該当業種のワークシートをコピーし追加して下さい。

※）＜様式4＞適用申請書記載事項確認念書の内容を正確に転記して下さい。事業者名については、（株）や（有）等の略号は用いず、正式な法人名を記入して下さい。

＜ブランド化事業のねらいに対する取り組み＞　　＜様式3-1＞

1. 地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）太陽の恵み「りんごの里の家」	（地域型住宅供給対象地域）長野県飯田下伊那地域
2. グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）住まいる応援隊	（結成年月）平成20年8月
3. 平成24年度のグループ番号（必須）	0 ー 0 ー 0	注1

4. ブランド化事業のねらいに対する取り組み

ア. 特徴あるブランド化の目標設定（必須）

【平成25年度における対応方針】（平成24年度採択グループは、平成24年度の課題とその対策も併せて記入ください）

a.【太陽の恵み「りんごの里の家」の取り組み】

長野県飯田市は「環境モデル都市」に選定されており、その理念に基づいて低炭素なまちづくりを推進している。
又、飯田市では日照時間が年間2000時間程度であり、年間を通じて晴れた日が多く作物にも太陽光発電にも恵まれた条件である。そして有名な飯田市の「りんご並木」は、かつての「飯田の大火」の復興過程で当時の飯田市立飯田東中学校の生徒達の提案により生まれた。今でも生徒達の手によって守られ、育てられ、かつての大火復興のシンボルから市のシンボルとなり多くの人々から愛されている。
以上のような地域特性を前提として、下記、取組を行う。
○【太陽の恵み「りんごの里の家」】では、全棟に太陽光発電システムを搭載して低炭素な住まいづくりをし、HEMS化を推奨する。
○飯田下伊那地方の風向き、景観を考慮して建築場所にあった採風・日よけなどパッシブなエコ設計の提案。
○グループで指定する地域材を主要構造部に50%以上使用する。
○地域の特産品である、りんごの生産者と協力し合って、建築する住宅に使用した地域材を使用して、後に洋服入等にも活用可能な、りんごの木箱を作り、すまい手の新築祝いとして親族・友人などに提供し、地域の特産品のりんごと、地域型住宅【太陽の恵み「りんごの里の家」】の宣伝・普及に努める。
○飯田東中学校をはじめとした小中学校の生徒を対象に、「私の考えるエコ生活」など、地域の環境改善に関心が向くような題材の作文を募集して優秀者には木箱入のりんごを贈る等、子供の頃から環境改善の意識を高める活動をする。
○【太陽の恵み「りんごの里の家」】の住宅仕様書、取扱説明書を発行し、併せて緊急時対応安全策（地域の避難場所・住まいる応援隊としての支援活動）をマニュアル化し配布する。

地域型住宅の生産に関する共通ルール	具体的取組内容	個別の住宅が、左記の共通ルールに基づき生産されていることを確認する具体的手段
	太陽光発電システムによる売電で、水道光熱費ゼロ住宅にすると共に、現場に応じた採風提案を行う。	平均水道光熱費である20，000円以上の発電能力を示すメーカーの計算書添付。サッシメーカーによる採風・創風提案書添付。
	主要構造材に「信州木材認証制度」の認証製品である製材・集成材・LVLを50%以上使用する。	住宅の木拾い表及び認証センター発行の証明書を添付する。

イ. 効率的で持続性のある住宅生産体制の整備（a 必須）

【平成25年度における対応方針】（平成24年度採択グループは、平成24年度の課題とその対策も併せて記入ください）

a.【住宅生産体制の効率化と品質維持に向けた取組み】

○仕様・設備検討委員会を設置し、グループとして地域型住宅に使用する建材の選定を行い、主に施工グループは「住まいる応援隊」の賛助会員であるメーカーの協力を得て地域型住宅ブランド化事業特別価格対応に協力してもらいコストダウンを図る。
○サッシメーカーによる採風創風シュミレーション 利用によりパッシブで健康的、効率的な省エネ設計に取り組む。
○仕様・設備検討委員会による共通仕様書の作成。
○「住まいる応援隊」加盟工務店と賛助会員メーカーの合同会議開催により地域型住宅の品質維持会議を開催。（年2回）

b.【消費者に向けてのグループの信頼向上に資する取組み】

○「住まいる応援隊」のホームページに地域型住宅の施工現場進捗状況を公開し、消費者に対して施工に関する不安を払拭する。
○グループとしての「標準見積書」の作成と、積算手法の標準化への取組み。それにより消費者への住宅コストの見える化と適正な価格の提示。
○「標準見積書」を使用して消費者への提示・説明の義務化。
○「住まいる応援隊」の全加盟店が加入している、ハートシステムの住宅完成保証制度の利用を推奨する。
○住宅履歴情報管理システム利用による維持管理計画書とリフォーム資金積立提案を含む資金計画提案書の添付。
○地盤調査報告書と地盤保証書の添付。

地域型住宅の生産に関する共通ルール	具体的取組内容	個別の住宅が、左記の共通ルールに基づき生産されていることを確認する具体的手段
上記の住宅生産の合理化・効率化に資する取組、安定供給の長期維持体制、グループの信頼向上に資する取組における共通ルール（任意）	「住まいる応援隊」賛助会員メーカー・問屋との「地域型住宅」対応特別価格の取り決め。	「地域型住宅」対応価格の価格表の提出と契約書を添付。
	「標準見積書」を使用して消費者への提示・説明の義務化と契約書への記載。	契約書の写しの提出と重要事項説明完了の押印がある完了書の写しの提出。

注1）平成24年度採択グループのみ記載してください。

※）それぞれの項目について、平成24年度採択グループは、平成24年度の取り組みを踏まえた課題と平成25年度における対応方針を明確に記載してください。

※）行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜ブランド化事業のねらいに対する取り組み＞　　＜様式３－２＞

1. 地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）太陽の恵み「りんごの里の家」	（地域型住宅供給対象地域）長野県飯田下伊那地域
2. グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）住まいる応援隊	（結成年月）平成20年8月
3. 平成24年度のグループ番号（必須）	0 － 0 － 0	注1

4. ブランド化事業のねらいに対する取り組み

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備（a 必須）

【平成25年度における対応方針】（平成24年度採択グループは、平成24年度の課題とその対策も併せて記入ください）

a. 【長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備に対する取組み】

〇住宅履歴情報蓄積システム活用の義務化。
〇事務局が住宅履歴情報の一括管理をし、施工業者が業態変更、廃業、倒産した場合には、グループにて臨時総会を招集し、承認を得た上でメンテナンス記録とメンテナンス業務を引き継ぐ施工業者をグループ内から選任する。
〇グループ共通のメンテナンス計画書の作成と活用及び、メンテナンス実施時期の明文化。
（半年・1年・3年・5年～以降5年毎）
〇メンテナンス実施に関する報告書の提出。（施主に原本、事務局に写しの提出の義務化）
〇請負契約締結時に、施主にメンテナンス工事資金を組み込んだ資金計画提案書（キャッシュフロー表）の提出。
（2回分　①現状把握　②改善案）
〇瑕疵が発生した場合の対応の手引書を作成し、住宅引渡し時に「重要事項説明」としての説明の義務付け。

b. 【住宅施策の国策ロードマップに沿った住宅性能への対応に対する取組み】

〇一般社団法人環境共創イニシアチブ（SII）が定めた基準を満たすHEMS機器及びシステム設置の推奨。
〇2020年・2030年・2050年の住宅性能基準を満たすリフォームの推奨とその為の資金計画の提案。
（太陽光発電システムによる売電などで得る利益の積立など具体案をキャッシュフロー表にて具体的に提案）

地域型住宅の生産に関する共通ルール	具体的取組内容	個別の住宅が、左記の共通ルールに基づき生産されていることを確認する具体的手段
グループの長期にわたる住宅維持管理体制における共通ルール（任意）	グループ共通のメンテナンス計画書を使用して、点検方法・診断基準に応じたメンテナンスの実施と報告の義務化。	事務局へのメンテナンス計画書の写の提出とメンテナンス実施報告書の提出。
住宅履歴情報の保存方法（任意）	グループの定める住宅履歴情報蓄積システムに登録して住宅履歴情報の蓄積の共有と義務化。	事務局が一括管理して、10年ごとに更新・維持管理する。

エ. グループの技術力の向上（a 必須）

【平成25年度における対応方針】（平成24年度採択グループは、平成24年度の課題とその対策も併せて記入ください）

a. 【グループの技術力の向上に対する取り組み】

グループの構成員の中には、長期優良住宅認定・設計性能表示の取得において未経験の構成員が含まれている。
その対応として、「住まいる応援隊」の賛助会員メーカー・問屋さんの協力を得て、サポートを受けたり、勉強会の開催を計画を立てて実施する。
〇グループ構成員の中の施工グループを中心に、実際の施工現場での施工勉強会の実施。（地域型住宅着工の都度）
〇設計仕様委員会主催による仕様説明会の実施。（メーカー・問屋のサポートを受けて第1棟目着工前に実施。必要に応じて追加実施）
〇設計仕様委員会主催の長期優良住宅・設計性能評価研修会の実施。（2回）

b. 【マナーの向上と、「りんごの木箱」実用化に向けての取組み】

〇事務局主催で主として施工業者を対象に現場清掃・お施主様対応のマナー研修の実施。（3回）
〇地域型住宅の施工現場及び現場周辺の清掃の実施。（施工現場は朝・昼・夜の3回、現場周辺は朝・夜の2回）
〇りんご生産者と協力して、「りんごの木箱」改良検討会を実施し、「りんごの木箱」を贈答用の商品として実用化に向けて検討をする。（年2回程度）

地域型住宅の生産に関する共通ルール	具体的取組内容	個別の住宅が、左記の共通ルールに基づき生産されていることを確認する具体的手段
グループの技術力の向上における共通ルール（任意）	地域型住宅の仕様説明会、長期優良住宅・設計性能評価研修会の実施参加の義務付け。	事務局による説明会・研修会参加の管理及び修了証の発行。

注1）平成24年度採択グループのみ記載してください。

※）それぞれの項目について、平成24年度採択グループは、平成24年度の取り組みを踏まえた課題と平成25年度における対応方針を明確に記載してください。

※）行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜ブランド化事業のねらいに対する取り組み＞　　＜様式３－３＞

1. 地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称） 太陽の恵み「りんごの里の家」	（地域型住宅供給対象地域） 長野県飯田下伊那地域
2. グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称） 住まいる応援隊	（結成年月） 平成20年8月
3. 平成24年度のグループ番号（必須）	0 ー 0 ー 0	注1

4. ブランド化事業のねらいに対する取り組み

オ. 地域産業の活性化（a、必須）

【平成25年度における対応方針】（平成24年度採択グループは、平成24年度の課題とその対策も併せて記入ください）

a. 【地域産業の活性化に対する取組み】

○太陽の恵み「りんごの里の家」では、主要構造材（柱・梁・桁・土台）の50%以上に「信州木材認証制度」の認証製品を使用する。
○建築に使用した「信州木材認証製品」を利用して、後に洋服入れ等にも利用可能な「りんごの木箱」を作り、地域のりんご生産者と協力して、地域型住宅の建築主に完成祝いとして木箱入りのりんごを5箱贈呈する。
○「住まいる応援隊」主催の様々なイベントの景品としても、太陽の恵み「りんごの里の家」のブランド名を入れた木箱入りのりんごを活用して、地域の特産品である「りんご」の普及と、環境モデル都市飯田の「りんご並木」の知名度を上げると共に、地域型住宅　太陽の恵み「りんごの里の家」の広告・宣伝をして低炭素な街づくりに貢献する。
○飯田東中学校をはじめとした小中学校の生徒から、地域の環境を考える題材の作文を募集して、優秀作品には「りんごの木箱」を贈呈し、子供の頃から環境に対する意識を高めると共に、地域の特産品である「りんご」の普及、さらに低炭素で省エネにも繋がる「地域型住宅」への関心を高める活動をする。
○りんごの生産者と協力し合って、贈答用の「りんごの木箱」の実用化を目指し、「住まいる応援隊」のホームページでもネット販売を試みて、地域産業の発展に努力する。

地域型住宅の生産に関する共通ルール	具体的取組内容	個別の住宅が、左記の共通ルールに基づき生産されていることを確認する具体的手段
地域材利用に関する共通ルール（必須）	グループの指定する信州木材認証制度の認定を受けた地域材（製材・集成材・LVL）を主要構造材の50%以上使用する。	信州木材認証制度の認証書・木拾い表・納入伝票を添付。

b. 【メディアを活用して長期優良住宅への関心を高める取組み】

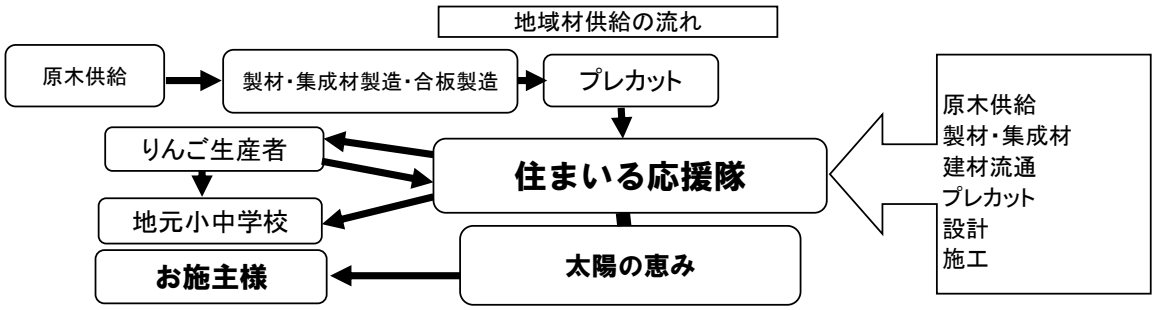
○太陽の恵み「りんごの里の家」の完成見学会や、「住まいる応援隊」のイベントなどの際に、グループの地域特性を生かした、地域産業活性化の取組みと環境改善への啓蒙活動の様子を、地域情報紙や地域新聞社、ケーブルTVなどにアピールし、地域のメディアを通じて「長期優良住宅」やHEMS住宅への関心を高め、環境モデル都市飯田にふさわしい低炭素な街づくりに貢献する。

地域型住宅の生産に関する共通ルール	具体的取組内容	個別の住宅が、左記の共通ルールに基づき生産されていることを確認する具体的手段
地域材情報の共有、地場産業等の積極的活用、街並みガイドライン等に関する共通ルール （任意）	日照時間の特性を生かした太陽光発電システムの搭載とHEMS化の推奨。完成祝いに地域材を利用した木箱入のりんご5箱の贈呈。地域特性を生かした採風・創風シュミレーションの提案。	太陽光発電システムの納入伝票の写しの提出。りんごの木箱5箱の贈呈式の記念写真提出。採風・創風シュミレーション提案書の写しの提出。

その他 （任意）

【平成25年度における対応方針】（平成24年度採択グループは、平成24年度の課題とその対策も併せて記入ください）

「住まいる応援隊」は、住宅産業は「地産地消」であるべき、と考えているビルダーのグループです。
地場の住宅需要は地場の住宅産業界で賄ってこそ、地域の活性化に繋がると信じています。
今回の「地域型住宅ブランド化事業」は、「住まいる応援隊」にとって最適な事業であり、
「住まいる応援隊」のメンバーは、今回の応募を機に、地域の産業の活性化に向けて、また、
環境モデル都市飯田の名に恥じないような低炭素な街づくりと、環境に対する意識向上の活動に、



注1）平成24年度採択グループのみ記載してください。
※）それぞれの項目について、平成24年度採択グループは、平成24年度の取り組みを踏まえた課題と平成25年度における対応方針を明確に記載してください。
※）行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。
※）グループの取組に関する補足説明は、様式３－３の「その他」の欄に記載してください。

「住まいる応援隊」は、地域の活性化の為、
明るい未来や将来の環境を考えられる子供達を応援する活動も積極的に行っていきます。

昭和22年4月飯田市大火直後

昭和28年11月りんごの木の植樹

育てたりんごを収穫する東中の生徒達

現在のりんご並木と「夢と希望の像」

飯田の大火の復興過程で立上がった、飯田市立東中学校の生徒達の行動は、災害に打ちひしがれた人々の心に「希望」という明るい灯を灯しました。

そして現在に至るまで彼らの手によって守られ、育てられている「りんご並木は、かつての復興のシンボルから「飯田市のシンボル」になりました。

「住まいる応援隊」は、彼らの心を引き継ぐ、明るい未来や環境を考えられる子供達の育成と応援の活動を、地域に愛される住まいづくりと共に積極的に行ってい

「住まいる応援隊」のパンフレット

現在の活動

「住まいる応援隊」は、無料パンフレットを作成し、加盟工務店の住まいづくりに関する考え方や、住まいの特徴などを消費者にわかりやすく公表しています。

また、「住まいる応援隊」のホームページを通じて、各社の施工写真やイベントなどを公表して、消費者に安心して頂けるように心がけています。

4年前からは、毎年秋に会員工務店と賛助会員のメーカー・問屋さんとコラボして、“住まいる応援隊大感謝祭”を開催し、地域のイベントとして定着しつつあります。

災害時のグループにおける対応策

□飯田市北方や高森町にある会員所有のモデルハウスを避難場所として開放。
　太陽光発電システムを利用して電子機器の充電、備蓄の水、食料の配布を行う。
□グループ事務局である、株式会社　丸富の社屋を避難場所として開放。グループ構成メンバーでの炊き出しの実施。
□上記対応が速やかに実行出来るよう、災害時対策会議を年1回開催して、備蓄の水・食料などの供出に協力し、これを事務局及びモデルハウスで保管し緊急時に備える。
□上記のようなグループとしての緊急時対応マニュアルを作成し配布する。
□災害時対策会議の際に、地元消防署、警察署の協力を得て、緊急時対策の勉強会を開催し、緊急時対応マニュアルの見直し、改善を行う。